# 2022年度「企業のエシカル通信簿」調査方法

#### (1) 調査分野 \*(数字)は小項目数

- 「1サステナビリティ体制(15)」「2消費者の保護・支援(17)」「3人権・労働(32)」「4社会・社会貢献(18)」「5平和・非暴力(7)」「6アニマルウェルフェア(31)」「7環境(計65)」の7つの大項目。うち環境は「A環境ガバナンス(18)」「B気候変動(18)」「Cごみ削減(11)」「D生物多様性(9)」「E化学物質(4)」「F水(5)」の6つの中項目ごとに分かれて調査。
- 調査項目の内容は、SDGsを念頭に、
  (1)現在の日本や国際社会で関心が高いもの、
  (2)本ネットワークとその参加NGO/NPOが日本 社会や企業に特に取組みの推進を求めたいも のを中心に選択。(年ごと/業界ごとに変化)

#### (2) 調査対象業種·企業数·企業 選定方法

- 過去の調査対象業種:「食品加工」「アパレル」計10社(2016年度)、「化粧品」「コンビニ」「宅配便」計12社(2017年度)、「家電」「外食チェーン」計10社(2018年度)、「飲料」「カフェチェーン」計10社(2019年度)スーパーマーケット6社(2021年度)10業種48社(⇒11業種58社)
- 2022年度は、**誰もが日常的に関わる**商品を製造しており、**すべての調査分野において関心が高く**、また**第1回**(2016年度)**との比較もできる**ということで、「加工食品メーカー」に設定。
- 同業種内でより多くの企業を、ということで、今回は 1業種に絞り、これまでで最大の大手10社までを 調査対象とした。
- 対象は「食品業界売上高ランキング」の上位10社 を選んだ。(たばこや飲料を含むランキングは除外。)

### (3) 調査票の作成と項目

- 環境6チーム、環境以外の分野6チーム、計12チームに分かれて調査票作成と調査を担当。
- 2021年度の調査票と同じく**エクセルのスプレッド** シート形式を使用。該当する箇所にチェックを入れていき、その根拠も記していく方法。点数の自動計算が可能だが、企業とのやり取りは点数を伏せて行った。
- ・ 共通設問に加え、**加工食品メーカー向けの設問**も 若干追加。
- 国外での事業展開があるかどうか、販売事業もあるかどうか、など、企業によって条件が違う場合は満点を操作(「該当なし」のチェックを設けた)

Α	В	С	D	Е	F	G	Н	1	J	K	L	M	N
	調査票<分野:												1
項目:	中項目	小項目	設問 (*は「用語解説」参 照)	選択股	合計		SSRC チェッ ク個	SSRO記入棚: 具体的記述・根裏(URLな ど)・質問	企業 チェッ ク閣 (SSR Gと異場 合)	企業記入棚: 具体的記述・根拠(URL など)・質問	Ħ	•	用語解説
人1-A	1.人権に関する	A人権に関す		■明文化していない、もしくは不明							_		
	基本方針・計	る基本方針	基本方針として企業理			0							
	画・研修 <設問趣旨> まず企業として人 権を尊重する基本	5	て明文化していますか (択一選択) 満点:2点	ъ明文化している	2	2							
人1-A	方針があるかどう		(2)「人権尊重」につい	盛り込んでいない、もしくは不明		0							<ul><li>世界人権宣言とは、1948年に</li></ul>
	かは大前提です。 具体的に、世界人		て、基本方針に次のよう な宣言を感り込んでいま	b.世界人権宣言★またはILO宣言★を盛り込んで		2					_		速で採択された、すべての人権を
	権宜言やILO宣言 言、ビジネスと人権に関する指導の 関いなどよりの ことにより、また、 個別の課題につい		は旦言を盗り込んでいますか(択一選択) 満点:4点	c.世界人権宣言およびLO宣言を盛り込んでいる	4	4							の基本となる、いわば人権に関す 憲法。 ・ILO宣言とは、1998年にILO総会 採択された、労働基準四原則(中 的条約)の尊重と実現を定めた宣 言。
A1-A	ての具体的な方針		(3)ビジネスと人権に関	a.行っていない、もしくは不明		0					_		・国連ビジネスと人権に関する
	や行動計画等を定		する指導原則*(以下	b. 「指導原則」の支持を打ち出している	1	1							蒋原則(以下、「指蒋原則」)

#### (4)調査の方法

- SSRC各分野チームのメンバーが、公開された 情報をもとに 調査を行い、調査票に記入。
- ・ 記入後の調査票を(配点・採点部分は伏せて)対象企業に送信し、修正や加筆等の意見回答を求めた。企業から回答があった場合は検討し、コミュニケーションを重ね、調査に反映した。(最大で3回やり取り)
- 本プロジェクト6回目にして初めて、10社すべての企業より回答があった。加工食品メーカーにおいてサステナビリティへの意識が浸透し、重視している顕れとして、大変歓迎すべき反応だと評価。
- 調査にあたっては、公正かつ誠実を旨とした。 調査票の作成および調査に携わった人数は 33名。

## (5) レイティング

- 大項目ごとにレイティング
  - = 総合レイティングは、あえて行わない。

⇒消費者、投資家、就職希望者、取引先が、そ れぞれの価値観に従って、企業を評価し選択する 情報ツールだから。

- 各項目と設問への配点は、社会状況を踏まえ、 各分野内で重要性を検討した上で行なった。
- 調査大項目ごとに、換算して100点満点にした。 レイティングは10段階。100点満点で10点ごと に区切り、1~10で表示。

(得点がたとえゼロ点であっても「1」がつく)

#### 10点未満…1

50点以上60点未満・・6

10点以上20点未満…2 60点以上70点未満・・7

20点以上30点未満…3 70点以上80点未満…8

80点以上90点未満・・9 30点以上40点未満・・4

40点以上50点未満…5 90点以上…10

#### (6)「市民目線の中小企業者サステナビリ ティ自主調査推進プロジェクト」の始動

- 過去に「エシカル通信簿をわが社でもやってほし い」という声が複数の企業から寄せられ、また昨年 度から自動点数計算が可能になったので、昨年 度は「自主調査」プロジェクトを試験的に行った。
- 本「エシカル通信簿」プロジェクトは大企業を対象と しているが、中小企業が自らの立ち位置を診断す るツールとして、中小企業向けに自主調査用の調 査票を作成(エシカル通信簿とさほど変わらず) し、意欲ある企業に使ってもらおうというプロジェクト を、SSRCの本プロジェクトから派生する形で、 2022年度から始動。
- 地球環境基金から助成を受け、今年度はパイ ロット調査を実施。各地の中小企業連盟に呼び かけ、長野と秋田で事前・事後研修を含め7社が 調査に参加。来年度から本格始動する予定。
- 関心のありそうな地域・企業があればご紹介を!

#### (7) 各種資料の公開について

 2022年度「企業のエシカル通信簿」調査票設問項目リスト 調査票自体は非公開。ただし、設問については公開している。
 https://cnrc.jp/wp-content/uploads/2023/03/chousa2022.pdf



2021年度以前の調査票および調査結果
 SSRCのウェブサイトにて公開中。
 https://cnrc.jp/works/business-ethical-rating/





本日の発表内容を含め、資料(+動画)も後日、公開します。詳しくは後日メールで、上記も合わせてお知らせします。